

所沢市の 生活支援体制整備事業

発行：所沢市生活支援コーディネーター
所沢市社会福祉協議会受託



No.5

生活支援体制整備事業とは、「生活支援コーディネーター（SC）」が地域の住民や各種団体、企業の関係者など、様々な人々と連携して高齢者の社会参加の推進や高齢者を支える地域づくりを進める取り組みです。

生活支援コーディネーターは、“人與人”・“人と地域”をつないでいます。

今回はコロナ禍でのSCの取り組み状況をお知らせします

1. 新しい生活様式の中で、つながりを絶やさない活動が始まっています



第2層生活支援コーディネーター（各地域包括支援センター）では、「家でできる体操」「脳トレ」「サギ防止」など、地域の福祉関係団体等に向け、直接会わずにできる活動を紹介し、活動中の感染予防の啓発など、地域の活動者に対して情報提供を行いました。感染対策を行いながら、“人與人”とのつながりを絶やさないことを関係団体に働きかけることで、活動再開への不安や解決策を共に考える機会となりました。

2. 緊急事態宣言中でのボランティア・市民活動の状況調査を実施

緊急事態宣言中の活動状況や再開予定について、ボランティア団体、市民活動団体等に調査を行いました。屋外での活動が継続する一方で、屋内での活動は自粛・休止が大半を占めました。その一方で、「新しい生活様式」を取り入れながら“つながりを絶やさない”活動を展開している団体があることもわかりました。



活動例 ・サロン・会食参加者に電話・手紙を定期的に行い、大変喜ばれた。

・“フレイル予防”など地域包括支援センターからチラシを配布した。

また、これまでの活動を見直し、新たな取り組みを始めた団体もありました。富岡地区のボランティアグループ「**シルバーサロン**」を一例として、ご紹介します。



↑所沢社協ボランティアセンター

動画で、活動の様子が見られます。

このグループは、高齢者が住まいの近くで集える憩いの場をつくることを目的に、20年以上サロン活動を行ってきました。感染拡大防止のため、サロン活動は休止しましたが、スタッフが会員の自宅を訪問し、「玄関先でのコーヒーのお渡し」と「“お元気ですか？”という声掛け」に切り替えました。スタッフと会員が顔を合わせることで、会員からは「今は会いに来てくれるのが楽しみ」と、非常に喜ばれています。

*アンケート結果や、活動のヒント集を、地域資源情報サイト「トコまっ3」に掲載しています。詳細は、裏面をご参照ください。また、市内の活動状況について一部動画で紹介しています。所沢社協ボランティアセンター動画に掲載されていますので、ぜひご覧ください（右記のQRコードをご利用ください。）



地域資源情報サイト「トコまっぷ」をご利用ください

～ 生活支援サービス・地域交流の場を簡単検索できます～

所沢市では市民の方が「生活支援サービス・地域交流活動（地域資源）」の情報を活用して頂くため、「所沢市地域資源情報サイト トコまっぷ」を令和元年10月から公開しました。お住まいの近くの活動やサービスを探す際にご活用ください。（*掲載許可を頂いた活動のみ掲載しています。）

掲載内容の一例



地域交流の場



体操



生活支援サービス



助け合い活動



外出支援



「所沢市地域資源情報サイト トコまっぷ」
<https://chiiki-kaigo.casio.jp/tokorozawa>



トップページから検索



リスト表示



詳細表示も可



QRコード

★キーワードや住所、分類、地区、募集状況など、組み合わせて、検索可能です。

生活支援コーディネーター（SC）が、地域で集めた情報を掲載しています。サイトへの掲載を希望される団体の方、「こういう情報を知りたい」という方、お気軽にお問い合わせください。

問い合わせ先

所沢市生活支援コーディネーター（所沢市社会福祉協議会 地域福祉推進課）

電話 04-2925-0041 FAX 04-2925-3419 メール 00411@toko-shakyo.or.jp

